

J-mama'z presents

秋ジャズ

秋 JAZZ 2018

TOKYO

(vo/ flh)



Shihō

Shiho (vo)

Guest



Yosuke Onuma

小沼ようすけ (g)



Satsuki Kusunagi

楠井五月 (b)



Shinji Akita

秋田慎治 (pf)



Masato Mori

守 真人 (ds)

9/29 (土)

▶開場 14:30 ▶開演 15:00

□ 会 場: 岡崎市図書館交流プラザ Libra ホール

□ 入場料: 3,000円 全席自由 (定員150名)

※未就学児の入場はご遠慮いただいております。 飲み物持ち込み可

□ チケット取扱場所: ◆ 岡崎市図書館交流プラザ2F 総合案内 ◆ J-mama'z (ジェイママズ)

□ チケット発売開始日: 2018年7月27日 (金)

□ 主催: ジャズの街岡崎発信連絡協議会 J-mama'z (ジェイママズ)

□ お問い合わせ: J-mama'z (ジェイママズ) TEL 090-6769-1796 (内田)

Eメール: j-mama.um122@honey.ocn.ne.jp

岡崎JAZZ
November
2018

このコンサートは
「岡崎 JAZZ November 2018」
のプレイベントです

Jazz の街 岡崎
JAZZ CITY OKAZAKI

秋 JAZZ 2018

アーティストプロフィール

Artist Profile



TOKU (ボーカル・フルーゲルホーン)

日本唯一のヴォーカリスト＆フルーゲルホーンプレイヤー。

父親の影響でノンジャンルで音楽に親しみ、中学時代にプラスバンドで初めての楽器コルネットを手にする。

2000年アルバム「Everything She Said」でSMEよりデビュー。デビュー当初からヴォーカル＆フルーゲルホーンプレイヤーとしての音楽スタイルや音楽センスに注目を集め、その年の8月には早くもブルーノート東京に出演。一躍日本のジャストツプシーンの仲間入りを果たす。また、アルバムはアジア各国でもリリースされ、海外での公演も行っている。その後は定期的なCD発売と全国のジャズフェス出演や国内外ツアーをデビュー以来続け人気、実力ともに若手ジャズアーティストNo.1の座を築く一方で、2011年3月の東日本大震災の直後に行われた、シンディー・ローパーの国内ツアーにも参加し、話題となった。2015年

10月、フランクシナトラの生誕100周年を記念して全曲シナトラのカバーアルバムを発売、そのレベルの高さに各所で大絶賛を浴びる。2017年6月アルバム「SHAKE」発売。この作品はTOKUならではの他ジャンルの様々なアーティストとの交歓を実践しジャンルを超えて一つの繋がりをもちたいというTOKUの思いが込められた作品となる。また、ジャズの枠を超えた幅広い音楽性から、m-flo、平井堅、Skoop On Somebody、今井美樹、大黒摩季、佐藤竹善などのアルバムに作家、プレイヤーとして参加するなど、正に「本籍Jazz、住所不定」のアーティストとして現在の地位を築く。近年では積極的に海外での活動も行っており、フランスやイギリスを中心とした欧州、ニューヨークを中心とした米国、アジア各国と様々な国の様々な音楽やアーティストの共演も行ってライブやイベントに出演している。

小沼 ようすけ (ギター)



2001年にSONY MUSICよりデビュー、10年間に在籍。現在までにSONY他から10枚のリーダー作品をリリース。2004年のカメルーン出身のベーシストリチャード・ボナとのレコーディングを契機に、独自の的方法論による指揮きスタイルを確立。ここ数年は様々な国を放浪して得た影響、ワールドミュージック要素を自分の音楽に採り入れながら、世界を繋ぐ創作活動を続ける。2010年フレンチカリビアンミュージシャンとレコーディングした「Jam Ka」発売。グアドループの民族音楽グオッカの太鼓(ka)がフィーチャーされたこの作品で独自の世界感を展開。同年にBLUE NOTE NY & TOKYOでリリースライブをおこなう。2014年、ワールドジャズをテーマに「GNJ」を発表。リーダー作以外のコラボレーション、セッションにも積極的に取り組み「トニーモナコ、小沼ようすけ & ジョーンジャクソン」名義で活動するストレート・アヘッド・ジャズに現代性を加味したオルガンジャズトリオも高い評価を得ている。

2016年、Flyway LABELを設立。第一弾作品としてパリで録音された「Jam Ka Deux」をリリース。GIBSON社、La Bella社エンドースメント・アーティスト。エレキギターの他にナイロン弦アコースティックギターも使用する。

Shiho (ボーカル)



ジャズボーカリスト。2001年に日本人として初の米国のコンコードよりFried PrideのボーカリストとしてCDデビュー。類いまれな歌唱力を武器に2016年12月のFried Pride活動終了(解散)まで、ブルーノートやビルボードライブを中心に全国各地のライブハウスや東京ジャズなど多くのJazzイベントに出演、米国ブルーノート・ニューヨークなど海外でもライブ活動を積極的に行いライブハウスやイベントに多数出演している。

過去TBS番組ナビゲーター(BS7ch)、ミュージカル「RENT」など舞台にも出演するなど多彩にその才能を発揮し、Fried Prideの活動を通じて、頭突きで瓦を割る女性(武田梨奈)で話題になったセゾンカードのCMソング、2016年秋にはルクセンブルクにてオーケストラとの共演、など、「ボーカリストShiho」としての知名度を上げた。

解散後はソロのJazzシンガーとしてライブ活動中心に現在も積極的に行っている中、新たなチャレンジとして武田真治(Sax)、TJO(DJ)とEDMユニットでも活動し「ULTRA JAPAN 2017」にも出演した。

秋田 慎治 (ピアノ)



'97年渡米し、中村照夫、Stanley Turrentine、Hubert Lawsらと共演、'00年帰国。

帰国後はその幅広い音楽性を元にTOKU、阿川泰子、マリーン、今陽子、土岐英史、サリナジョーンズ、矢沢永吉、森山良子などをサポートする傍ら、「東京JAZZ2005」他、多数のジャズ・フェス等に参加。'06年1stアルバム『moments in life』を日本、韓国でデビュー。

'07年、初のレギュラーTV番組「Groovin' Jazz Night」(BS朝日)が好評を博す。'10年2ndアルバム『fiction』をリリース、収録曲「prelude to eternal」は洋服の青山TVCMに起用される。'12年には高須クリニックCM曲を作曲の際には自らもピアニスト役で出演、JVCKENWOOD公式推奨アーティストに抜擢など活躍の幅を広げる。'16年4月からはレギュラーラジオ番組「GINZA JAZZZZZ supported by 銀座三越」(TOKYO FM)も始まり注目を集める中、'16年7月、4thアルバム『time -10』をリリース、多様な音楽性を一枚にまとめた。

楠井 五月 (ベース)



1985年5月16日 北海道旭川市生まれ。幼少期にエレクトーン、中学からエレキベースを演奏し、法政大学ジャズスタディークラブに入部後コントラバスを弾き始める。井上陽介氏に師事し、在学中よりプロとして演奏活動を開始。ジャズの伝統に根差した強靱なスウィングビートと様々なジャンルに対応する幅広い音楽性でバンドサウンドを固める。2011年より辛島文雄(Piano)トリオに加入し二ヶ月に渡る全国ツアーに参加。小松伸之(Drums)と共に晩年のリズムセクションを務めた。TOKU(Vocal, Flugelhorn)、谷口英治(Clarinet)、Grace Mahya(Vocal)、若井優也(Piano)、菊池太光(Piano)、魚返明未(Piano)各氏のバンドや多数のセッション、レコーディングなどで活動中。Vladimir Shafranov(Piano)を始めとして海外ミュージシャンの来日公演のサポートも数多く務める。また、東京都内を中心に自身のリーダーバンドの活動も精力的に行っている。ホットミュージックスクール、飯田ジャズスクールで講師も務め、各地でのワークショップを行うなど、後進の育成にも力を注いでいる。2017年初リーダー作となる「Satsuki Kusui & Vladimir Shafranov」を発表。

守 真人 (ドラム)



幼い頃から教会でドラムを始め、その後大竹尚氏、木村由紀夫氏など多数のドラマーに師事。2016年に尚美学園大学のジャズコースを卒業し現在幅広いジャンルで活動中。



岡崎市図書館交流プラザ

〒444-0059

愛知県岡崎市康生通西4丁目71番地

TEL 0564-23-3100

水曜日休館(祝日を除く)

9:00~21:00

<http://www.city.okazaki.lg.jp/libra>

※図書館交流プラザ駐車場の無料サービスは2時間までです。ご来場の際は、なるべく公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。